

第三者評価結果シート・コピー（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターさが

②評価調査者研修修了番号

S25203
S16057

③施設名等

名 称：	乳児院 みどり園
施設長氏名：	堤 峯敏
定 員：	20名
所在地(都道府県)：	佐賀県
所在地(市町村以下)：	佐賀県佐賀市金立町金立453番地
T E L：	0952-98-0247
U R L：	http://jikeikai.saga.jp/midori/
【施設の概要】	
開設年月日	1940/4/20
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 慈恵会
職員数 常勤職員：	29名
職員数 非常勤職員：	3名
専門職員の名称（ア）	保育士
上記専門職員の人数：	16名
専門職員の名称（イ）	看護師
上記専門職員の人数：	4名
専門職員の名称（ウ）	里親支援専門相談員
上記専門職員の人数：	1名
専門職員の名称（エ）	家庭支援専門相談員
上記専門職員の人数：	1名
専門職員の名称（オ）	管理栄養士
上記専門職員の人数：	1名
専門職員の名称（カ）	調理員
上記専門職員の人数：	4名
施設設備の概要（ア）居室数：	4
施設設備の概要（イ）設備等：	床暖房
施設設備の概要（ウ）：	ユニット制（小規模）
施設設備の概要（エ）：	

④理念・基本方針

基本理念 乳児院みどり園は、児童福祉の理念に沿って子ども一人ひとりの固有の生命を大切に育み、健やかな成長・発達を願って人権を擁護し最善の福祉サービスの実践を目指します。 ・ 人格を尊重して個性を大切にします。 ・ 安心、安全な生活の場を提供します。 ・ 人との関わりや様々な経験を通して人間性を育みます。
基本方針 愛情と熱意をもって養育にあたること ・ 健康状態の観察及び体力増進・基本的な生活習慣を身に着ける。 ・ 情操の豊かな子どもに育てる。 ・ 安全で快適な生活環境づくり ・ 子どもと親との絆を大切に、家族との良いコミュニケーションに努める。 ・ 地域との連携を図る。

⑤施設の特徴的な取組

家庭生活体験事業（職員などの家に外泊し家庭的な生活を体験する） 小規模グループケアの実施 食育の取り組み（野菜畑にて、季節の野菜等自家菜園収穫など） 春の遠足・秋の遠足・七五三・運動会・クリスマス会など季節の行事などで思い出作り

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2016/12/1
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2017/
受審回数	1回
前回の受審時期	平成25年度

⑦総評

評価できる点

- ◎前受審の指摘を受け、入所から退所までの一貫した担当制が取られており、このことで、子どもに、より親密な愛情や信頼関係が育まれるようになっている。
- ◎常に環境整備に努め、快適な居住スペースが確保されている。また、睡眠、入浴、排せつなど日常生活においては、プライバシーが確保されている。
- ◎子どもを尊重した養育・支援の取り組みとして、常に子どもの最善の利益を考えた取り組みが行われている。また、細やかな観察により日常生活の様子、状態等を細部に渡り記録に残されている。

改善が求められる点

- ◎中・長期の事業計画の明文化されていない。理念や基本方針を実現するために必要となる中・長期の目標を明確にした中・長期計画を策定し、職員、保護者へ周知されることが望まれる。
- ◎施設の専門性を生かした子育て相談窓口の設置、乳幼児の成長の手助けとなる講演会等、施設の社会資源を地域に還元できる取組が期待される。
- ◎スーパービジョン体制がない。スーパーバイザーの配置が困難な場合は、基幹的職員を中心に据え、職員相互に評価し助言しあうチーム支援の体制を確立されることが望まれる。また、必要に応じて外部の専門家によるスーパービジョンを受けられる取組みも期待される。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

施設の新築移転初年度での第三者評価で、ユニット体制に不慣れな点も多々ありましたが、今回の評価結果を分析検討するとともに子どもの最善の利益を第一に考えて職員一同努力致します。今回の評価で改善が求められる点につきましては、全職員がしっかりと認識し改善を図ります。

⑥第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者 評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人・施設内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人・施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人・施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
【コメント】		
理念、基本方針はパンフレット、ホームページから確認できる。職員に対しては職員会議の折に周知が図られている。保護者等に対しては、わかりやすく説明できるような工夫を行い、周知が図られることが望まれる。		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、法人・施設が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	
【コメント】		

隣の乳児院と連絡を取り福祉動向の把握や情報収集に努め、経営環境等の改善に取り組まれている。また、今期、施設がユニット化となり、環境が整備されたことで、運営の課題解決にも取り組まれている。今後、施設経営の安定性や将来の展望を描くうえで施設の経営状況を定期的に分析することが必要なことから、コスト分析、子どもの推移、利用率等の分析を適切に行われることが求められる。

②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b	3
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○	
	<input checked="" type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○	
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○	
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。		

【コメント】

施設長は、理事会において施設の取り巻く環境や課題について情報を共有し、改善に取り組まれているが、職員への周知については認識不足が見受けられる。今後、経営課題をより明確化し、職員に周知することで課題の解決・改善に組織的に取り組むことが期待される。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果		
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	4
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。		
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。		
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○	

【コメント】

中・長期の目標を掲げた表を作成されており、その過程で必要となる取り組みも計画されている。しかし、経営状況・環境の把握、分析等を踏まえ、理念や基本方針の具現化のための目標を明確にした中・長期計画の策定が望まれる。

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	5
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。		
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。		

【コメント】

事業計画を定め、単年度の計画は職員への周知が図られている。しかし、単年度の数値目標を示し、成果が評価できる計画の策定が望まれる。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	6
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。		
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○	

	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	○

【コメント】

事業計画の策定にあたっては職員の参画のもとで行われているが、意見の集約や反映については、取り組みに不足が感じられる。今後は、職員が計画内容の理解を深めることができるようユニットへの設置に止まらず、個人への配布、回覧等の取り組みが期待される。また、評価後の計画の見直しについては、P A C Dサイクルを用いた取り組みが期待される。

②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c	7
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。		
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。		
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。		
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○	

【コメント】

事業計画の周知については、保護者等へのパンフレットの配布、行事毎の案内に止まっている。今後は、郵送等の一方的な保護者への周知ではなく、保護者に対してわかりやすく理解できるよう口頭での説明の機会を設けることや計画の内容を簡潔にまとめる等の工夫が求められる。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1)	質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果	8
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。		
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○	
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○	

【コメント】

今年度よりユニット化された施設に移られ、最新の設備を利用した養育・支援の向上に取り組まれている。しかし、組織的・継続的なものとはなっていない。養育・支援の向上については、P D C Aサイクルを活用し、担当者や複数職員による担当制等を定め、組織として体制を整備することが期待される。

②	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	9
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。		
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○	
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。		
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。		

【コメント】

自己評価、第三者評価については、職員の参画の下で「定期的」「必要に応じて」等行われており、そこでの課題に基づいて改善策の取組みがなされている。しかし、分析の結果やそれにもとづく課題が文書化されておらず、職員の参画も不十分である。今後は、課題を明文化し改善に向け組織的に取り組むことが求められる。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果	
	①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
		<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。		

10

【コメント】

施設の経営者としてパンフレットに園長の挨拶が記載されており、職員会議等でも役割や責任を明らかにされている。有事に備え、施設長と職員の連絡網は文書化され周知されているが、職務分掌の文書化はない。今後、有事や不在時の権限や役割と責任の所在を明確化・文書化し周知されることが求められる。

	②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
		<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

11

【コメント】

施設長はコンプライアンスの徹底を図り、法令等を正しく理解するため積極的に各種研修会に参加され、参加後は職員会議等において、その内容を職員にも伝達している。また、遵守すべき法令等の資料は印刷し、各ユニットに配布し、職員がいつでも見ることができるよう配慮されている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。	①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
		<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

12

【コメント】

施設長は、施設運営・管理に関する施策を職員会や職員との個人面談で報告し、理解を図ったうえで取り組まれている。また、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、職員配置の改善や年齢に見合った食事の提供、自家菜園の導入等に取り組まれている。また、全職員の資質向上のため、県内外の研修会への参加を積極的に進められており、養育・支援の充実も図られている。

	②	13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
		<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
		<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

13

【コメント】

財務と労務については、法人本部において、月1回、税理士と労務士に相談する機会を設け、常に事業の見直しと改善に取り組まれている。職員に対しては、随時、必要な説明をされているが、全職員への周知については不十分なところが見受けられる。職員全体で効果的な事業運営ができるよう、職員への周知と理解に努める工夫が期待される。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果	
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	14
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○	
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。		
	<input type="checkbox"/> 法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○	
	<input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○	
	【コメント】		
施設の人材は、配置基準により確保・配置されている。心理士の配置はなく、児童相談所の心理士に頼っているため、必要時に連絡をとり対処されている。職員の家事都合等による長期休暇や欠員による人材不足は、養育・支援の質の低下につながることから、今後、人材確保の具体的な改善策の検討と対応が望まれる。			
②	15 総合的な人事管理が行われている。	b	15
	<input type="checkbox"/> 法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	○	
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○	
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○	
	<input type="checkbox"/> 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができて		
【コメント】			
法人本部において総合的な人事管理が行われている。職員面談や主任会議・各部署が定期的実施されており、この中で職員の意向や・意見を聞きくようにされている。職員が自らの将来を描くことができるよう、今後、昇進・昇格等に必要な能力やそれを修得する機会等のキャリアパスを明確化し、取り組める体制作りが期待される。			
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	16
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○	
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○	
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○	
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような施設内の工夫をしている。	○	
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○	
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。		
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。		
	<input type="checkbox"/> 人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。		
	【コメント】		

職員の希望に基づき就業時間や有給休暇の習得ができるよう配慮されている。職員とは定期的な個別面談やアンケートにより、意向の確認や相談ができる環境が作られている。ストレスチェック制度も導入されている。今後、ワーク・ライフ・バランスに配慮された人員体制や、相談しやすい工夫、相談を受けた後に解決を図る体制の整備が期待される。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	17
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	<input type="radio"/>	
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。		
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	<input type="radio"/>	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	<input type="radio"/>	

【コメント】

職員一人ひとりの目標の設定と進捗状況・目標達成度の確認は個人面談の際に行われているが、口頭での伝達やその記録に止まっており、十分に取り組みれるとは言い難い。今後、目標の設定にあたっては、項目、水準、期限等を明らかにし、職員一人ひとりが到達可能な目標を設定し、達成度の確認が行われることが期待される。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	18
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	<input type="radio"/>	
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	<input type="radio"/>	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	<input type="radio"/>	
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	<input type="radio"/>	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	<input type="radio"/>	

【コメント】

職員の教育・研修については、養育・支援の質の確保や専門的な技術向上に必要なものとして積極的に参加の機会が提供されている。各職員は、自分が学びたい外部・内部の研修があれば参加を要望することができ、業務に支障が無いよう他の職員がフォローするシフトが組まれている。今後は、より体系的な計画を明文化し取り組まれることが期待される。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	19
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	<input type="radio"/>	
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	<input type="radio"/>	
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	<input type="radio"/>	
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	<input type="radio"/>	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	<input type="radio"/>	

【コメント】

職員一人ひとりの知識、技術水準、専門資格の取得状況に照らし合わせて内部・外部の研修へ参加できるように計画されている。また、研修参加後は職員会議で発表したり、資料・レポートを提出し情報の共有が図られている。今後は、テーマを決めて講師を招いた内部研修の開催や職員相互の勉強会等により、さらに教育・研修が充実した取り組みになることが期待される。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	20
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。	<input type="radio"/>	

<input type="checkbox"/>	実習生等の養育・支援の専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
<input type="checkbox"/>	専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
<input type="checkbox"/>	指導者に対する研修を実施している。	○
<input type="checkbox"/>	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【コメント】

実習生の受け入れについては、マニュアルが整備されており、専門職の教育・育成に関する基本姿勢が明文化されている。受け入れにあたっては、担当職員による事業説明、オリエンテーションも実施されている。

3 運営の透明性の確保

(1)	運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果	
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	21
	<input type="checkbox"/>	○	
	<input type="checkbox"/>	○	
	<input type="checkbox"/>	○	
	<input type="checkbox"/>	○	
	<input type="checkbox"/>	○	

【コメント】

ホームページに施設に関する資料や事業計画、財務状況等が公開されており、経営の透明を図る取り組みが確認できる。第三者評価受審結果も公表されている。法人全体として地域福祉ニーズへの対応状況も確認できる。財務状況については、法人全体のものも公開されているため、各施設毎の公開が期待される。また、地域に向けて広報誌、パンフレット等の作成による情報の発信も望まれる。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	22
	<input type="checkbox"/>	○	
	<input type="checkbox"/>	○	
	<input type="checkbox"/>	○	
	<input type="checkbox"/>	○	
	<input type="checkbox"/>	○	
	<input type="checkbox"/>	○	

【コメント】

施設の経営・運営に関しては、法人において必要となる各種規程が整備され、適正に管理し統制が図られている。月1回、法人本部より経理支援や会計上の指導を受け、適正な運営に努められている。

4 地域との交流、地域貢献

(1)	地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果	
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	c	23
	<input type="checkbox"/>	○	
	<input type="checkbox"/>	○	

	<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。 <input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	
--	---	--

【コメント】

施設の特長として、乳幼児への感染防止を考慮して地域との交流は消極的である。今後、地域に対して施設の社会的役割を果たすため、行事等の機会を利用し、子どもと地域のお年寄りや子どもたちとの交流が図られ、職員も地域の一員として地域活動に参加する体制づくりが望まれる。

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	24
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○	
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。		
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している	○	
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 学校教育への協力を行っている。		

【コメント】

ボランティアの受け入れに関するマニュアルは整備されているが、施設の特長や移転後間もないことから、現在のところ地域との交流は希薄で、ボランティア活動の受け入れが行われていない（民生委員等の視察の受け入れはある。）。施設は地域における社会資源であることから、今後は、子どもの感染症や特性等に配慮したうえで、ボランティアの受け入れや学校教育・体験教室等への協力が望まれる。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	25
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○	
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がいない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○	

【コメント】

子どものよりよい養育・支援に必要となる関係機関・団体と連絡体制が整えられている。関係機関の連絡先は、事務所や各ユニットにも掲示されており、職員にも情報の共有化が図られている。緊急時の連携対応体制も整備され、職員への説明、周知も行われている。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 施設が有する機能を地域に還元している。	b	26
	<input type="checkbox"/> 施設のスペースを活用して地域住民との交流を意図した取組を行っている。		
	<input type="checkbox"/> 施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。		
	<input type="checkbox"/> 施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。		
	<input type="checkbox"/> 災害時の地域における役割等について確認がなされている。	○	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。	○	

【コメント】

施設の特徴を考慮し、地域に還元できる取り組みとして、災害時の備蓄物の提供と避難場所として施設の開放が提示されている。今後、施設の専門性を生じた子育て相談窓口の設置、乳幼児の成長の手助けとなる講演会等、施設の社会資源を地域に還元できる取り組みが期待される。

②	27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	27
	<input type="checkbox"/> 施設の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。		
	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。		
	<input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を実施することなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。		
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。		

【コメント】

施設が地域ニーズの把握に努めようとする姿勢は認められるが十分ではない。地域住民の意見や要望の把握に努め、把握した福祉ニーズを解決・改善する公益的な活動の実施と、地域住民の自主的な活動への支援や協力を促す取り組みが望まれる。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果	28
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○	
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○	

【コメント】

子どもを尊重した養育・支援の実施にあたり、毎月行う職員会や副主任会等で課題の共有化を図り、乳児院倫理綱領やチェックポイントに照らし合わせて検討が行われている。倫理綱領については、常に基本に立ち返ることができるよう、職員会において読み上げが行われている。

②	29 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援の実施が行われている。	a	29
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○	
	<input type="checkbox"/> 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○	
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、子どものプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。	○	
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	○	

<input type="checkbox"/> 保護者等にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

子どものプライバシー保護について細心の注意を払い、常に配慮を怠らないよう努められている。子どもの虐待防止や権利擁護についても、不適切な事案が生じないよう規程及び対応マニュアルが整備され、職員に周知すると共に、いつでも確認できるように各ユニットに配置されている。オムツ交換、入浴等も個室で対応されている。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

① 30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a	30
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	<input type="checkbox"/>	

【コメント】

保護者に対しては、園の案内パンフレットを配布し説明を行うとともに、ホームページでも必要な情報は公開されている。また、これらには、園の1日の生活の流れ、年間行事、施設内設備の案内等の利用について詳しく記載されている。入所前の施設見学にも職員が丁寧に対応されており、不安の解消に努められている。

② 31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	b	31
<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。		
<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。		
<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。		

【コメント】

入所時の保護者との面談は、児童相談所と共に行われており、わかりやすく工夫した書式を用いてアセスメントが行われている。その際、日常生活における養育・支援の内容も説明されている。また、同意にあたっては、保護者の自己決定を尊重する配慮がなされている。今後は、自己決定が困難な保護者に配慮し、具体的な対処方法を定め、より理解しやすく工夫された様式の作成が期待される。また、同意に至る過程を記録し文書を残すことが望まれる。

③ 32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a	32
<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	<input type="checkbox"/>	

【コメント】

子どもの発達や生活の記録、育ちに関するアルバム等の作成を行い、支援の継続性に活用されている。措置変更にあたっては関係機関とケース会議を行い、移行がスムーズに行われるよう配慮されている。家庭復帰、里親への移行に対しては、子どもとの面談や外泊を必要に応じて何度が行い、互いに慣れてから移行するよう配慮されている。里親の家庭には、里親支援専門相談員が定期的に訪問し、移行後のフォローが行われている。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。	第三者 評価結果	
① 33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	33
<input type="checkbox"/> 子どもとの日々の関わりのなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	<input type="radio"/>	

【コメント】

ユニット化により以前より見守りが行き届き、子どもとのコミュニケーションも取りやすくなっている。子どもの満足度の把握は、こうした日々の関わりの中から把握するよう努められている。把握された情報は、ケース会議、職員会において分析・検討され施設全体で満足度のレベルアップや養育・支援の向上に反映されている。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
① 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	34
<input type="checkbox"/> 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="radio"/>	

【コメント】

苦情解決に向けて意見箱が施設内に2ヶ所設置されている。相談室もあり、アンケートや電話でも受付していることが職員や保護者等にも周知されている。苦情の申し出を受けた場合は、解決に向けて全職員で検討、協議を行う体制が組まれており、記録も残されている。今後、申し出者に不利益が及ばない範囲で、苦情の内容と対応について掲示板等で他の保護者等へ公表されることが期待される。また、意見箱の設置場所については、投函者へ配慮した場所への変更が望まれる。

② 35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	35
<input type="checkbox"/> 保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に行うことをわかりやすく説明した文書を作成している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	<input type="radio"/>	

【コメント】

保護者に対しては、相談や意見が述べやすいように事ある毎に職員から働きかけが行われている。相談に応じるため、施設内に相談室も設置されている。また、苦情受付担当者や第三者委員の氏名を書いたポスターも掲示されている。今後、苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物を掲示したり、保護者へお便りを送る際に相談窓口や苦情等の受付体制を説明した文書を送るなど、更なる周知が図られることが期待される。

③ 36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	36
<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	<input type="radio"/>	

<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】

意見箱、アンケート等の手法で保護者から相談・意見を受け付け、記録、報告が行われている。これら手続きはマニュアルを整備し職員に周知が図られている。相談や意見のあった内容については、児童相談所等各関係機関にも報告が行われている。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。	第三者 評価結果	
① 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	37
<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○	
<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○	
<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○	
<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○	
<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○	
<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○	

【コメント】

1日2回行う掃除の際に、安全の確認も同時に行われている。また、おもちゃは、使った後に毎日拭き掃除を行い、危険が無い確認されている。安心、安全を第一に養育・支援が行われ、気づきがあれば些細なことでもヒヤリハットに残して報告されている。それらを集約し、マニュアルに基づいて職員に周知し対策を検討したうえで、再発の防止に取り組まれている。

② 38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	38
<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○	
<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。	○	
<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○	
<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○	
<input type="checkbox"/> 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。	○	
<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	○	

【コメント】

看護師を中心に感染症対策に取り組まれている。対応マニュアルも整備され職員にも周知・徹底されている。感染の予防や対応についての勉強会も行われている。遊具の消毒や手洗いによる予防対策も講じられている。感染症罹患時は医務室や療養室に隔離して養育・支援されている。また、緊急時には佐賀県立病院好生館に搬送する体制が執られている。

③ 39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a	39
<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○	
<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、養育・支援を継続するために必要な対策を講じている。	○	

<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○
<input type="checkbox"/> 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	○

【コメント】

月1回昼、夜の火災訓練が行われている。災害時を想定した避難先、避難経路が定められており、災害時のマニュアルも整備され、職員に周知されている。緊急時の連絡網があり、全職員に周知されている。また、災害時用の備蓄リストを作成し、担当者を決めて、賞味期限等の確認と管理が行われている。非常食の賞味期限が近づくと、それを用いて災害時を想定した調理の訓練も行われている。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果	
① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a	40
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	○	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	○	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	○	

【コメント】

養育・支援の標準的な実施方法については、場面や時間ごとに文書化されている。養育・支援の記録やチェック表等の様式は、標準化され、各ユニットで使用されている。新任の職員に対しては、オリエンテーションを行い自立できるまで先輩職員が教育係となり、標準的な実施方法が行えるよう指導している。また、参考資料として乳児院養育指針・運営ハンドブックを職員用に購入し貸し出している。

② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	41
<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	○	
<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	○	
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○	
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○	

【コメント】

標準的な実施方法は、1ヶ月1回行われる職員会において検証と見直しが行われている。また、定期的な検証時以外にも、必要に応じ再度検証・見直しを行う体制が執られている。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a	42
<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○	
<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○	
<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。	○	

<input type="checkbox"/>	□自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、保護者等の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
<input type="checkbox"/>	□自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
<input type="checkbox"/>	□支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	○

【コメント】

アセスメントの手法が確立され文書化されている。養育主任が中心となり担当職員及び各部門の職員、必要に応じて心理療法担当者が参加してアセスメントが行われ、その結果により子ども1人ひとりの自立支援計画が策定されている。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a	43
<input type="checkbox"/>	□自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○	
<input type="checkbox"/>	□見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○	
<input type="checkbox"/>	□自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○	
<input type="checkbox"/>	□自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○	

【コメント】

自立支援計画は、年4回の評価・見直しと、必要に応じて週1回のケース会議での検討が行われてる。児童相談所にも提出し共有が図られている。また、保護者にも報告する取組みがなされている。

(3)	養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		
①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	44
<input type="checkbox"/>	□子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○	
<input type="checkbox"/>	□自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○	
<input type="checkbox"/>	□記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○	
<input type="checkbox"/>	□施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○	
<input type="checkbox"/>	□情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○	
<input type="checkbox"/>	□パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○	

【コメント】

ユニット毎に養育・支援の実施状況を記録するためパソコンが設置されており、情報の共有化が図られている。また、一日の生活の記録として、水分補給・睡眠・検温・排便等の記録簿や、15分毎に睡眠時の様子をチェックする様式が整備されており、子どもの状況を把握し職員間で共有する体制が確立されている。パソコンのネットワークシステムは構築されていないが、共有すべき情報は、書面により回覧が行われている。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	45
<input type="checkbox"/>	□個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○	
<input type="checkbox"/>	□個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○	

<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○

【コメント】

個人情報保護規程により個人の記録、保管場所、保管期限、管理責任者が定められており、職員間でも周知されている。職員会などでも、情報の管理体制に関して確認や徹底が図られている。記録簿を保管している書庫の鍵は園長が管理し、職員であっても許可なく入室ができない体制が執られている。個人情報の取扱いに関しては、保護者にも説明されている。

内容評価基準（22項目）A-1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者 評価結果	
<p>① A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。</p> <p><input type="checkbox"/>養育・支援の内容が子どもにとって最善の利益になっているか、振り返り検証する機会が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員が、子どもの最善の利益の実現を目指し、子どもによりそい、その思いを代弁する役割と使命を共通理解し、その実現に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの最善の利益を実現させるために、日々の養育・支援に関する姿勢や子どもへの接し方等について、振り返り改善する取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設全体の養育・支援の質の向上を図るために、研修や自己研鑽によって職員が専門性を高めている。</p> <p><input type="checkbox"/>養育実践や養育の内容に関する職員の共通理解や意見交換を図る機会を設け、協働性を高めるよう取り組んでいる。</p>	a	A1

【コメント】

日々、子どもの最善の利益を第一に優先し追求するために、毎月1回、職員会において乳幼児倫理綱領及びチェックポイントが配布され、養育支援の振り返りが行われている。また、職員が研修に参加したときは、研修報告の機会を設け、情報の共有が図られている。

(2) 被措置児童等虐待対応		
<p>① A2 いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。</p> <p><input type="checkbox"/>「就業規則」等の規程に具体的な例を示して体罰等の禁止を明記している。</p> <p><input type="checkbox"/>体罰等があった場合を想定して、施設長が職員にその原因や体罰等の方法・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつくられている。</p> <p><input type="checkbox"/>体罰等の起こりやすい状況や場面について、研修や話し合いを行い、体罰等を伴わない的確な援助技術を習得できるようにしている。</p> <p><input type="checkbox"/>体罰等の禁止を職員に徹底するため、日常的に会議等で体罰等を取り上げ、行われていないことを確認している。</p>	a	A2

【コメント】

施設長は、職員会や事ある毎に、子どもの人格を辱めるような行為は絶対にあってはならないと、職員に対して述べている。体罰禁止、名前は呼び捨てにしない、大声を出さない、穏やかに対応する等、子どもの人格、人権を認め保護するように努められている。就業規則にも体罰等の禁止が明記されており、職員へ周知徹底されている。

② A3 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a	A3
---------------------------------------	---	----

<input type="checkbox"/>	不適切なかかわりの防止について、具体的な例(ヒヤリハット等)を示し、職員に徹底している。	○
<input type="checkbox"/>	不適切なかかわりに迅速に対応できるように、乳幼児からの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
<input type="checkbox"/>	不適切なかかわりがあった場合を想定して、施設長が職員にその原因や方法・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行うようリスクマネジメントがなされている。	○
<input type="checkbox"/>	不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、研修や話し合いを行い、これによらない援助技術を習得できるようにしている	○
<input type="checkbox"/>	不適切なかかわりの防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	○
<input type="checkbox"/>	不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制(配置や担当の見直し等)を検討している。	○

【コメント】

施設長・主任が中心となり、不適切な関わりの防止と注意・喚起がなされている。職員間でも具体的なヒヤリハットの事例を基に勉強会を行い、職員同士が内部牽制を行うことで再発防止に努めている。

③	A4 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a	A4
<input type="checkbox"/>	被措置児童等虐待の届出・通告制度について、対応マニュアルが整備されている。	○	
<input type="checkbox"/>	被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたとき、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができています。	○	
<input type="checkbox"/>	被措置児童等虐待の届出・通告があった場合に、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備されている。	○	
<input type="checkbox"/>	被措置児童等虐待の届出・通告制度について、研修会などで職員に周知している。	○	

【コメント】

法人や施設には、被措置児等の虐待対応マニュアルが整備されており、児童相談所への連絡、届出、通告制度も構築されている。職員会でも説明が行われ周知されている。第三者委員会も設置されているが、幸いこれまで発生のお事例がないため委員会に諮ったことは無い。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果	
①	A5 子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育てている。	a	A5
<input type="checkbox"/>	乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。	○	
<input type="checkbox"/>	子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。	○	
<input type="checkbox"/>	どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。	○	
<input type="checkbox"/>	特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。	○	
<input type="checkbox"/>	担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。	○	
<input type="checkbox"/>	語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体のふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。	○	

被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。

【コメント】

ユニットの施設の特徴を生かして、子どもの担当職員を決めて養育・支援が行われている。担当職員が養育者となり、親密な愛着関係が構築されていることが窺える。

②

A6 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。

b

A6

日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。

施設に子どもが安心して暮らせる温かな家庭的雰囲気がある。

居室が安心して、くつろいだり、落ち着ける場所になっている。

安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。

他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。

満足感の得られる養育者との遊びの時間を提供している。

自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。

【コメント】

新築移転を機に小規模グループ化したことで、きめ細やかな養育・支援ができる生活環境が整備されている。もく浴室、床暖房、ユニットに隣接した戸外の遊び場、野菜作りなど体験できる畑などがある。今後、他児と区別された「自分のもの」といえる個別の棚を設ける計画があり、玩具等の個別化が図られることが期待される。

③

A7 子どもの発達を支援する環境を整えている。

a

A7

養育者は、月齢による発達特性(自我の表出等)を認識し、養育に当たっている。

入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。

一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。

子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。

言葉を獲得し話し始めた子どもの問いかけには、できる限りその場で応答している。

「いや」など駄々をこねたり、自分を表現する力がまだ十分でない子どもの気持ちをくみ取ろうとしている。

【コメント】

子どもに対して担当職員が決められており、入所から退所まで養育・支援が継続して行える担当制が確立されている。子どもが安全であると感じ、安心できるよう、養育者となる担当職員と愛着関係が構築されている。

(2) 食生活

①

A8 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。

b

A8

授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。

授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。

授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。

一人飲みをさせていない。

生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。

○

【コメント】

看護師、保育士、管理栄養士らの参画のもと、乳幼児の発育、発達に応じた適切な授乳が行われている。授乳時は落ち着いた環境と養育者の愛情を感じとれる雰囲気作りも行われている。1日の授乳時間、量など生活記録表に記録され、体調が管理されている。

②

A9 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。

a

A9

在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。

○

個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。

○

食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。

○

嚙む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。

○

栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚙下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。

○

【コメント】

管理栄養士、担当職員との話し合いで、基本的な栄養摂取量と進度に関する知識を共有し離乳食が進められている。食事、おやつなどの残量確認も生活記録表に記録し情報が共有されている。アレルギーへの配慮は当然であるが、急な体調変化にも対応できるよう口頭での連絡と食事変更届により確実な情報の伝達が行われている。また、月1回、食育委員会も行われ知識と情報の共有が図られている。

③

A10 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。

a

A10

食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気でき食事ができるよう工夫している。

○

子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。

○

乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。

○

食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。

○

養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。

○

食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと視線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。

○

日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。

○

お腹がすくりズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。

○

栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。

○

【コメント】

保温庫が導入されており、温かい食事ができる。食事の環境も明るく、清潔が保持され、テーブル、椅子は子ども身体に合ったものが用意されている。子どもの成長に応じた調理方法や栄養のバランスが配慮されている。食事がくつろいで楽しい雰囲気であることができるよう、担当職員が傍について支援している。

④	A11 栄養管理に十分な注意を払っている。	a	A11
	<input type="checkbox"/> 十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> さまざまな「食育」への取組を行っている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	<input type="checkbox"/>	

【コメント】

管理栄養士が個々の子どもの発達状態に応じて献立が作成されている。また、自家菜園で季節の野菜を作り、子どもたちと収穫し、その野菜を食事として提供することで、食育にも取り組まれている。アレルギーに関しては、保護者の状況も調べるなど注意されている。おやつは、10時と15時にできるだけ手作りのものが提供されている。

(3) 衣生活

①	A12 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	b	A12
	<input type="checkbox"/> 衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 寝ている生活が主なときは前開きのものを、動きが活発になったら活動的で腹部や背中に出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 衣類は個別化し、個人別に収納している。		

【コメント】

職員は、各子どもに合ったサイズ、素材を考慮し、時々々の活動に合わせて衣類を準備されている。季節に応じた衣類との交換、清潔の保持に努めている。ユニット制となり、衣類の個別化が進められているが、完全に個別化された状態ではない。今後、子どもの好みに応じ衣類が選択できるよう、個別化が図られることが期待される。

(4) 睡眠

①	A13 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a	A13
	<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	<input type="checkbox"/>	

【コメント】

睡眠時、室内の温度と湿度は一定に保たれており、快適な環境と常に清潔な寝具が整えられている。ベッドや寝具、その周辺は、毎日、点検が行われている。SIPSや疾患に対する配慮が必要な乳幼児にはベビーセンサー等の医療器具が使用されており、睡眠中の心音の記録が取られ、異常時に対応できる体制が確保されている。また、就寝安眠チェック表により15分毎に就寝中の子どもの様子が、覚醒、水分補給、おしゃぶり等記録されている。

(5) 入浴・沐浴

①	A14 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a	A14
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴を毎日している。	<input type="checkbox"/>	

<input type="checkbox"/> 浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

各ユニットに木浴室と家庭用浴槽が整備され、各乳幼児の成長に合わせて利用されている。入浴は、1対1で職員が対応し、入浴中も身体に異常があれば記録し、対応する体制が取られている。新園舎となり、ゆっくりと担当職員とのふれあいを楽しみながら入浴できる環境となっている。

(6) 排泄

① A15 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a	A15
<input type="checkbox"/> おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、排泄への興味を持てるように配慮している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。	<input type="checkbox"/>	

【コメント】

各ユニットには、安全で清潔なおむつ交換台、乳幼児用便器が整備されている。各乳幼児の発達段階に応じた排泄用品が用意されている。心理的圧力感がないように配慮し、排便回数、時間、便の状態などが記録され体調が管理されている。今後、楽しく排泄できるトイレ内の雰囲気作りが期待される。

(7) 遊び

① A16 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	b	A16
<input type="checkbox"/> 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかかわりができるように配慮している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。	<input type="checkbox"/>	

【コメント】

訪問調査は1月に実施したが、園の中央に設けられたホールには、床暖房が整備されており、寒さを気にすることなく快適に遊ぶことができる。年齢や発達段階に応じて遊べる玩具が準備されており、乳幼児が好きな玩具を棚から自由に取ることもできる。玩具は、毎日、清拭消毒され、同時に玩具の不具合を確認し、常に安全に使用できるように保たれている。施設では、玩具の個別化の取組が準備中であり、個別に整備されることが期待される。

(8) 健康

①	A17 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a	A17
	<input type="checkbox"/> 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	○	
	<input type="checkbox"/> 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	○	
	<input type="checkbox"/> 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒的問題等について総合的な診察を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	○	
	<input type="checkbox"/> ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	○	

【コメント】

佐賀県立病院好生館と連携されており、入所時の検診担当の医師をかかりつけ医と定めている。施設は、子どもの健康状態を検温、食欲、便の状態等から毎日確認・記録し、疾病の早期発見に努められている。病院受診時は、1日の生活記録を母子手帳と共に持参し、子どもの状態を説明されている。健康管理等がマニュアル化されており、適切に管理されている。医療機関の連絡先が各ユニットに掲示されている。

②	A18 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a	A18
	<input type="checkbox"/> 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	○	
	<input type="checkbox"/> 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	○	
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	○	
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医による定例的な診断を受けている。	○	
	<input type="checkbox"/> 異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。	○	

【コメント】

病・虚弱児等の健康管理は、医師の指示に従い、看護職員と担当職員が連携し対応されている。日々の健康状態が事細かに把握、記録されている。受診の際は、看護師が同行し、受診後、担当職員へ説明を行い、情報を共有している。服薬の管理と保管は、看護師と他の職員との服薬前の2重のチェックと服薬後の薬の包みのチェックが行われている。緊急や定期的受診にも対応できる取組が確認できる。

(9) 心理的ケア

①	A19 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	b	A19
	<input type="checkbox"/> 心理的な支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	○	
	<input type="checkbox"/> 心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。		

<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	○
<input type="checkbox"/> 心理的なケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	○

【コメント】

職員として心理士の在籍はないが、必要に応じて児童相談所の心理士に連絡を取り、来園いただいている。乳幼児、保護者等で心理士の援助が必要な時は、援助、相談ができる体制が整備されている。心理士からの助言は、担当職員へも周知が図られている。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

① A20 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a	A20
<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するよう努めている。	○	
<input type="checkbox"/> 施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気を大切にしている。	○	
<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	○	
<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に対応するための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	○	
<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	○	
<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	○	

【コメント】

保護者との信頼関係の構築には、園長と家庭支援専門相談員が主となり、必要に応じて子どもの担当職員が参加し取り組んでいる。行事の通知に合わせて、子どもの日常生活の様子を手紙や写真で伝えている。

(11) 親子関係の再構築支援

① A21 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a	A21
<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	○	
<input type="checkbox"/> 入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	○	
<input type="checkbox"/> 子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	○	
<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	○	
<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるよう努めている。	○	
<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	○	
<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	○	

【コメント】

親子関係の再構築のため、家族を支援する取り組みを児童相談所と連携して行っている。面会や外出、一時帰宅等で、徐々に親子関係を再構築する取り組みが行われている。また、施設内には親子生活訓練室が整備されており、親子で宿泊し、親子関係再構築にかかる訓練を行うこともできる。

(12) スーパービジョン体制

① A22 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性の向上や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	c	A22
--	---	-----

<input type="checkbox"/> スーパーバイザーを配置し、いつでも相談できる体制を確立している。	
<input type="checkbox"/> 職員に対するスーパービジョンを定例的に行い、職員がひとりで問題を抱え込まないように、スーパーバイザーなどを通じて、組織としての働きかけをしている。	
<input type="checkbox"/> スーパーバイザー以外にも職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人ひとりが支援技術を向上させ、施設全体の支援の質を向上させるような取組をしている。	○
<input type="checkbox"/> スーパーバイザーは、職員からの信頼が得られるよう、研修に参加するなど質の向上に努めている。	
<input type="checkbox"/> 国が定める基幹的職員を設置している。	

【コメント】

スーパーバイザーの配置はなく、スーパービジョン体制がない。スーパーバイザーの配置が困難な場合は、基幹的職員を中心に据え、職員相互に評価し助言しあうチーム支援の体制を確立されることが望まれる。また、必要に応じて外部の専門家によるスーパービジョンを受けられる取り組みも期待される。